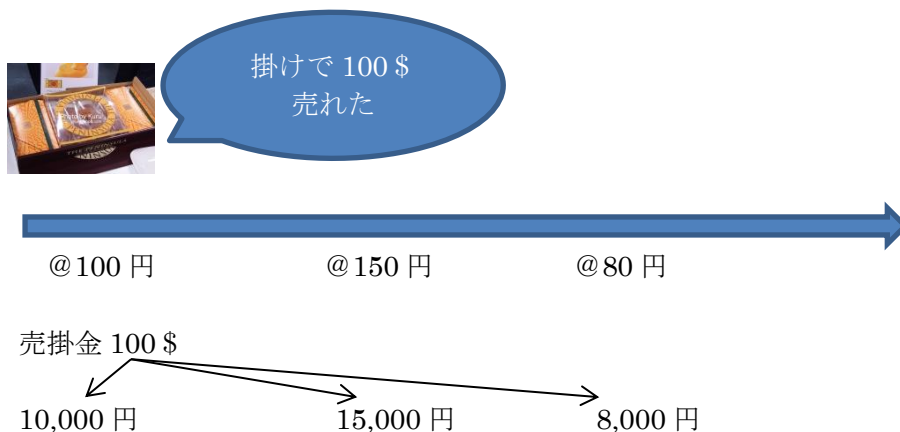


日商簿記2級（平成29年6月 新論点講座）#5

【外貨②為替予約】

収録日：平成29年4月15日

為替予約



5,000円儲かるかも？でも2,000円損するかも

円建てで取引したいが、顧客の意向は\$建て

さて、どうしよう

変動相場制だから為替変動リスクがある。

だったら、無理やり固定相場にしちゃおう・・・という話です

為替予約には2種類の処理方法がありますが、日商2級は振当て処理のみ

振当処理

問われるのは、予約日と決算日です。そこだけ見ていきましょう

①12/1 商品1,000\$を掛売りした。今日のレートは@100円。6月末決済

売掛金100,000 / 売上高100,000

②2/1日 円高懸念が出てきたので、6/末95円で決済する為替予約を行った
直物レート98円 6/末日先物レート95円

今日までの差損 $2円 \times 1,000\$ = 2,000円$ (直々差額)

為替差損2,000 / 売掛金2,000

決済日までの差損 $3円 \times 1,000\$ = 3,000円$ (直先差額)

為替差損3,000 / 売掛金3,000

☆2級ではすべて当期の損益で処理します

したがって仕訳はまとめて 為替差損5,000 / 売掛金5,000

<決算日

本来は決済日までの差損を当期分と翌期分に按分する（当期と翌期に差損益を振当てる）

{ 当期分（2,3月分） 2/5 →1,200円
{ 翌期分（4,5,6月分） 3/5 →1,800円

ただこれは1級の話・・・なので2級では仕訳なし

取引日

予約日



@100 ←————→ @98

売掛金100,000

／売上100,000

為替差損2,000／売掛金2,000（当期分）

@95

為替差損3,000／売掛金3,000（当期分と翌期分）

<決済日

予約レートで決済

現金95,000／売掛金95,000

☆ちなみに、取引時までには為替予約しておけば、固定相場と同じ感覚でOK

12/1 商品1,000 \$ を掛売りした。同時に6月末決済の為替予約を1 \$ 95円で行った

売掛金95,000／売上95,000

これは簡単ですね